



～もう一人の自分たち～

校長 島浦 昌乃

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成 (文責: 教頭 土器 修)

台風4号の本県への接近に備え、7月12日(火)を臨時休校とし、PTA運営委員会も中止としました。保護者の皆さま、PTA運営委員の皆さまには、本措置にご理解をいただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、大きな被害の報告もありませんでした。7月7日(木)には福岡コロナ警報が発令されたところですが、学級閉鎖等の措置を講じることなく、1学期子どもたちの学びを継続し、本日無事に終業式を実施することができました。ひとえに、地域、保護者の皆さまのご理解とご支援の賜と心より感謝申し上げます。明日から始まる夏季休業が、子どもたちにとって心身ともにたくましく成長する機会となりますよう変わらぬ見守りとご支援をよろしくお願いいたします。

1学期をふり返って ～1学期終業式の実施～

7月20日(水)に終業式を実施しました。感染症対策、熱中症対策としてオンラインでの実施としました。全校生徒が一堂に会することはできませんでしたが、各学年の代表生徒は、始業式で定めた目標に立ち返って成果と課題を的確に分析し、2学期の新たな目標、2学期に向けて夏休みに取り組むことを述べることができました。

校長先生からは、学校生活調査の結果をもとに、本校が目指す3つの生徒像「向学」「自立」「友愛」の達成状況をふり返るお話がありました。各学級では南中生全員が真剣にモニターを注視し、儀式的行事にふさわしい傾聴姿勢で参加しました。時間中、全校が静寂に包まれ、厳粛な雰囲気の中で1学期をふり返り、これから取り組むべき課題について真摯に向き合うことができました。

ここでは、各学年代表生徒の言葉を紹介します。

1学年代表 1年1組 野田 紗由莉さん

体育会では招集係の仕事をやりました。期末考査では内容が難しくなったので考査前の学習を充実させました。対話活動でも班長として意見をまとめることができました。2学期は学年の絆をさらに深め、充実したものにしたいです。



2学年代表 2年1組 小宮 莉幸さん

これまで正解とされてきたことが正解でなくなる未来がやってきます。2学年の課題は失敗を恐れて考えを発信できないこと。現在、役員改選に向けて自分たちで企画する練習を行っています。指示待ちでなく、自分から行動できる学年になります。

3学年代表 3年2組 松尾 玲央さん

3年生はどの学年よりも仲が良い学年だと思います。しかし、授業中自分の意見を活発に言っている人とそうでない人の差があります。自分の意思をはっきり表示できる集団になり、リーダー学年としてのレベルを1つ上げられるようにしたいです。



家庭と連携した協働活動の推進 ～PTAあいさつ運動の実施～

6月27日(月)に1学年、29日(水)に2学年、7月1日(金)に3学年のPTA学年委員会、サポートスタッフの皆さまによるあいさつ運動が行われました。1学年12名、2学年14名、3学年10名の方にご参加いただきました。梅雨明けということもあり、大変暑い中にご協力いただき、感謝申し上げます。例年この時期は、糟屋区中体連の時期とも重なり、子どもたちも疲れた表情で登校することが多いのですが、会員の皆さまから温かい声をかけていただいたことで、昇降口は元気なあいさつの声が和していました。会員の皆さまには、生徒会のあいさつ運動の様子も見ていただき、丁寧に立ち止まってあいさつする子どもの姿に「礼儀正しく感心」「元気がよくて気持ちが良い」と称賛の声をいただきました。本校の指導の基盤について、保護者の皆さまと共通理解を図る貴重な時間となりました。



1学年あいさつ運動の様子



2学年あいさつ運動の様子



3学年あいさつ運動の様子

新たな人権教育、平和教育の創造 ～放送朗読の実施～

7月6日(水)、7日(木)に、立候補した図書委員が戦争を題材に放送朗読を行いました。先日、ママーグースの皆さまから戦争を取り上げた読み聞かせをしていただいたことを受け、生徒が平和について考えを深めることを目的に実施したものです。教室では、放送聴取を通して、南中生が今世界で起きている戦争の惨禍に思いをはせ、平和の尊さを実感しました。よく聴く沖縄の音楽に、平和への思いが込められていることを新たに知る機会にもなりました。



放送委員の朗読の様子

3 学年「夢実現プログラム」の推進 ～高校出前講座、夢実現講演会の実施～

◎ 高校出前講座

3 学年では、高等学校の先生をお招きし、高校での授業を体験する出前講座を実施しています。直接高等学校の授業を体験することは、パンフレット等で学習する以上の発見があり、中学卒業後の進路選択について真剣に考える機会となります。また、中学校の学びがどのように高等学校につながっているのかを実感させることとなり、授業への取り組み方について改めて見直す機会となります。本年度は、6 月 30 日(木)に、県立高等学校、私立高等学校の計 8 校の先生方から、「普通」「工業」「商業」「看護」「保育」「総合」「理数」等の授業を体験させていただきました。

3 年生は、事前にインターネットやパンフレット等を使って「高校調べ」を行って出前授業に臨んでいます。新たに発見したことや分かったことについてまとめた生徒のふり返りの一部を紹介します。



出前講座の様子

- ・ 看護にふれたのは初めてで、教えてもらうことすべてが新鮮なことばかりでした。友だちと包帯を巻き合う活動等もう一度受けたいと感じました。巻き方も怪我や症状によって様々だと知り驚きました。「誰でも知っておけば命を助けられる」という言葉に心を動かされました。
- ・ 生物の授業で魚の観察をし、楽しく活動することができました。胃の中に入っている食べ物を見る学習では、顕微鏡で微生物やプランクトンが確認できました。高校を選択していくうえで貴重な経験をすることができました。

◎ 夢実現講演会「卒業生に学ぶ」

7 月 7 日(木)に、本校卒業生で、現在宇美町こどもみらい課にお勤めの玉川広大さまを講師にお迎えし、「社会の担い手となる中学生に期待すること」の演題でご講話いただきました。この取組は、地域で活躍する本校卒業生のご講話から、これから地域にどのように関わっていくか、貢献していけばいいのかについて 3 年生に考えさせ、将来自分がどのような人生を歩むか「夢をかたる」ことを支援するものです。玉川さまからは、人は 1 人では生きられないこと、出会った先輩や同僚が進路決定に際して相談したり、話し合ったりできる存在となることが語られました。

続く進路説明会では、いつもより真剣な面持ちで、進路スケジュール等に聞き入る 3 年生の姿がありました。いよいよ本格的な進路実現に向けた道程がはじまります。「自分にとって特別な出会いとなるかは見定めることができないので、多くの人との出会いを大切にしてください」という玉川さまのメッセージを、3 年生がこれから進路選択を進めるうえで実践してくれることを心から期待します。



「卒業生に学ぶ」の様子



進路説明会の様子

- ・ 玉川さまの話から、「仲間がいたら、どんな困難なことでも乗り越えることができる」「人生を歩んでいくうえで大切なものは仲間だ」ということを強く実感しました。今まで仲間がいることは当たり前だと思っていたけど、それは間違いだと思いました。共に励まし合いながら進路実現をなしたいです。
- ・ 同じ目標に向かって誰かと協力し合う大切さを学びました。同じ目標をもつ人と励まし合うだけでなく、弱音を吐きながらでも協力し合うという話しが印象に残っています。今まで弱音を吐くのは良くないことだと考えていたのですが、少し気が楽になりました。人間関係づくりに生かしていきたいです。

南中生の活躍を讃えて ～糟屋区中体連結果等の紹介～

◎ 糟屋区中体連各大会(6月15日(水)～7月2日(土)各会場)

軟式野球：一回戦惜敗 サッカー：一回戦惜敗 女子バレーボール：一回戦惜敗 女子バスケットボール：準優勝
 女子ソフトテニス：団体戦 5 位決定戦惜敗 個人戦：四回戦惜敗 男子ソフトテニス：7 位決定戦快勝
 男子卓球：団体戦 順位決定戦惜敗 個人戦 三回戦惜敗 女子卓球：団体戦 順位決定戦惜敗 個人戦 四回戦惜敗
 バドミントン：個人戦 シングルス二回戦敗退 ダブルス準優勝(牧野夢悠さん・田中裕太さん)
 陸上競技：中学男子共通走幅跳入賞(安居孝晃さん、工藤晃さん) 中学男子 1 年 100m 入賞(時崎王雅さん)、
 中学男子 2 年 100m 入賞(安居孝晃さん、工藤晃さん) 中学女子 2 年 100m 入賞(山崎杏乃さん)
 中学低学年男子 400m リレー 3 位(時崎王雅さん、平田光琉さん、安居孝晃さん、工藤晃さん)
 ※個人戦は部内最高順位のみ紹介 ※陸上競技は入賞者のみ紹介 ※下線は筑前地区大会出場決定

◎ 筑前地区中体連各大会(7月16日(土)、17日(日)各会場)

男子ソフトテニス：団体戦 一回戦惜敗
 女子バスケットボール：一・二回戦快勝、準決勝・三位決定戦惜敗 **ベスト 4 県大会出場**

◎ 第 2 回第 4 学区中高吹奏楽発表会(7月16日(土)リーパスプラザ古賀)

吹奏楽部：「ジェネシス」「いつも風 巡り会う空」演奏

◎ 中学生読書サポーター養成講座開講式(7月9日(土)うみみらい館)

2 年 1 組 金井美諭さん、志水佑衣菜さん、2 年 2 組 大脇らんるさん、津留歩実さん



第 4 学区中高吹奏楽発表会の様子

ほっといい話 ～学校近くを通りかかられた方からのお話～

7 月 4 日(月)に本校近くを通りかかられた方から次のようなお話をうかがいましたのでお知らせします。
 『原田小学校から下校中の男児が道ばたで座り込んで、ぐずっていたところ、宇美南中学校の女子生徒 3 名が「大丈夫？」と声をかけ、一生懸命になだめていました。その男児がなかなか動かなかったのですが、「暑いからここにいたら危ないよ」「お母さんが心配するよ」と何度もやさしく声をかけつけてくれていました。男児は結局、お姉さんが迎えに来て一緒に帰っていきました。暑い中、諭そうとする姿が大変微笑ましく、お知らせいたします。』

南中生のさりげない、素敵なふるまいが、これから人を笑顔にし、地域を照らし、大きな輪となって広がっていくことを期待します。